



園だより



令和 7 年 9 月 号

杉並区立堀ノ内子供園

園 長 大塚 玲華

「遊びを通して楽しく体を動かす」

園長 大塚 玲華

今日からいよいよ2学期が始まります！先日の夏季保育では久しぶりにおひさまグループとほしグループの子どもたちが再会し、嬉しそうにしていました。夏季保育ではプールに入り、水の気持ちよさを感じたり水の中で体を動かすことを楽しんだりしました。

子供園のプール活動は、ワニやラッコ、カニなどの身近な水の生き物になって水の中を進んだり、宝探しをしたり、ビート板につかまって浮いてみたり…というように、発達に応じた遊びを通して行われます。

夏季保育の日も、そういった活動が行われました。5歳児きりん組では、宝探しをする姿がありました。宝探しは水の中に沈んでいる貝や魚などを拾う遊びです。拾った宝は、かごに集めます。きりん組の子どもたちは手で宝を拾った後、「手以外」の体のどこかを使って、かごまで宝を運ぶことを楽しんでいました。1学期も宝探しを行い、その時は頭に載せて運ぶ子や、背中に載せて運ぶ子、顎に挟んで運ぶ子などがいました。頭に載せていた子は、友達が背中やお腹などに載せて運んでいるのを見て「そういう方法もあった！」とまねをするなど、お互いに刺激を受ける姿も見られます。そのうち、一度にいくつもの宝を運べるように2、3個まとめて載せて運ぶ姿も見られるようになりました。

夏季保育では、さらに違う動きが見られました。「もっと一度にたくさん運びたい」と頭・背中の両方に宝を乗せ運ぶ子が現れたのです。すぐに周りの友達がその様子に気付き、まねをして運ぶ姿があらこちらで見られるようになったと思ったら、なんと今度は頭・背中に宝を乗せるだけではなく、同時に両足の指にも宝を挟んで運ぶ子が！すごい！そのような動きも友達に伝わり、「自分もやってみよう」と挑戦する姿がありました。

宝探しの姿を見ていると、子どもたちは遊びながら様々なことを経験していることが分かります。例えば「体のどの部分に乗せて運ぼうか」と自分で遊びをもっと面白くしようと考えること、「友達はこんな運び方をしている！自分もやってみよう」と友達の様子に気付き、それを自分の中に取り入れることなどです。自分で考えたり、周りの出来事を自分の中に取り入れたりして、より遊びを面白くしている姿がありました。

「体の動き」という面でも、様々な動きを経験しています。宝が落ちないように「そっと動いて」運ぶ、水の中で「バランスを取って」運ぶ、頭・背中・足の指など宝を乗せている「体の部位にも意識を向けつつ前に進む」「足の指は宝をつかみつつ、手は交互に動かして前に進めるようにする」などです。このような様々な動きは、「面白そう」「やってみたい」と子どもが宝探しという遊びに自発的に取り組み「もっと面白くしたい」と繰り返す中で引き出されたものです。大人側が「体のここに宝を乗せて運ぼう」と決めてしまっていたら、それ以上の動きは出てこなかったかもしれません。

文部科学省から出ている『幼児期運動指針』には、幼児期の運動について、次のようなことが書かれています。幼児期は運動機能が急速に発達し、多様な動きを身に付けやすい時期です。この時期に体をたくさん動かすと、普段の生活に必要な動きをはじめ、とっさの時に身を守る動きや将来的にスポーツに結びつく動きなど、多様な動きを身に付けやすくなります。体を動かす遊びには、多様な動きが含まれます。ですから、幼児が夢中になって様々な遊びをすると、結果的に多様な動きを経験し、それらを獲得することができるのです。体を動かす遊びが自発的に行われるようにする必要があります。遊びが楽しく、幼児が自ら様々な遊びを求めるようになれば、遊びもさらに広がり、一層、多様な動きを獲得できるようになります。

自発的な遊びを通して、楽しみながらたくさん体を動かすと、この時期に大切な多様な動きを獲得できるということです。

2学期、遊びを通して様々なことを学ぶことはもちろん、子どもたちが楽しさを感じながら様々な体を動かし、多様な動きも身に付けられるように、充実した教育・保育を行っていきます。

・ 今月の指導 ・

うさぎ組

2学期が始まりました。先生と関わったり、やりたい遊びを見付けたりしながら、少しずつうさぎ組での生活を思い出し、安心して楽しく過ごすことができるようにします。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 興味のあることや同じ場にいる幼児と関わって遊ぶ。
- 伸び伸びと体を動かす気持ちよさを感じる。
- 保育者と一緒に園生活の仕方を思い出しながら、身の回りのことを自分でしようとする。

遊びのきっかけになりやすいようなコーナーを設定したり、1学期に楽しんでいたことを繰り返し楽しめるような環境を用意して、やりたい遊びを見付けて自分なりに楽しめるように支えていきます。また、やりたいことを楽しむ中で、同じことをしている周りの幼児の存在をうれしく感じ、関わりながら遊ぶことを援助していきます。生活面では、自分でやってみようとする姿を一つ一つ受け止めながら、「自分でできた!」という満足感を大切にしていきます。

2学期も「子供園ってやっぱり楽しい!」と思えるように、丁寧に関わっていきます。少しずつリズムを取り戻していけるように、ご家庭ではゆったり関わる時間をもち、心も体も休めていただくようお願いします。

ばんだ組

2学期が始まりました。友達や先生と久しぶりに会えたことを喜んだり、楽しかった夏の思い出を話したりしながら、少しずつばんだ組での生活を思い出していきます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 園生活のリズムを取り戻し、保育者や友達の中で自分の思いを出して遊ぶことを楽しむ。
- いろいろな遊びや興味のあることに自分から関わって遊ぶことを楽しむ。
- 友だちや保育者と伸び伸びと体を動かしながら、いろいろな運動遊びを楽しむ。

1学期に楽しかった遊びを思い出したり、学級の友達との遊びを楽しんだりする中で、一人ひとりが自分の思いを安心して出していけるよう支えていきます。まだまだ暑い日も続きますが、遊びの中で楽しく体を動かす経験を積み重ね、体を動かすことの心地良さやみんなと一緒に動く楽しさを感じられるようにしていきます。

2学期からは降園時刻が14時になり、子供園での生活の時間が長くなります。子どもたちの生活の流れを大切に、少しずつ慣れていけるようにしていきます。疲れが出てくることも予想されますので、ご家庭でもゆったりと過ごしたり、体調管理をしたりしていただくようお願いします。

きりん組

暑かった夏が過ぎ、きりん組の保育室で久しぶりに会った友達や保育者と夏の思い出を話し、再会を喜んでいます。1学期に楽しんでいたことや夏の経験を再現して遊ぶ中で、きりん組保育室での生活の楽しさも少しずつ思い出していきます。

今月は次のことを重点に指導していきます。

- 生活の流れに見通しをもち、自分から進んで取り組む。
- 共通の目的に向かって、みんなと気持ちや力を合わせる心地よさを感じる。
- 様々な運動遊びに取り組む中で、力いっぱい走ったり、跳ったりしながら自分の力を発揮する。

きりん組での生活の仕方を思い出し、園生活のリズムを取り戻していきます。また、いろいろな運動遊びに取り組む中で、一人ひとりが体を動かす心地よさを味わえるようにしていきます。運動会に向けた取り組みも始まります。自分の力を発揮する楽しさや、勝つうれしさ、負けた悔しさ、友達と気持ちや力を合わせ、互いに支え合っていくことの充実感を感じられるようにしていきます。体を動かすことが増えます。生活リズムを整え、毎日元気に楽しく遊びや活動に取り組めるようにしましょう。